

令和元年6月1日 第12回議会報告会 意見交換

A班

- 問 高砂町から西友（サンモール高砂）が撤退した。買い物難民状況である。その際、西友跡地を高砂市に売却するという話があったと聞くが真相はどうか。
- 答 西友の2階を図書館にしてはどうかという話はあったが、売却の話は存じていません。
- 問 明石ではタクシー、バス乗車に恩恵がある。また77歳になると5千円の祝い金があると聞いた。高砂市にはその制度はあるのかどうか。
- 答 実現にはいたっていないが、タクシーチケットについては行政当局も研究検討している。市民にとって良いと思われる施策は検討すべきだと考えます。
- 問 コミバス1台当たり970万円も費用がかかっている割に乗車者数が減少しているならもう少し効果的な方法を検討すべきだと思う。
- 問 タクシーチケットを配布した場合、他市に買い物に行ってしまう可能性がある。むしろバスのターミナル化を図り、バスの利用促進を図った方が乗車者の心理に当てはまるのではないかと思う。
- バスを放射線状に運行することにより、人の移動が活発になり周辺飲食店も賑わいが出るので検討してはいかがか。
- 問 前回の第4次総合計画策定の際に、市民意見を求められ建設的に意見を述べたが、全く返答がなかった。素案を作成し、モニタリングやヒアリングなどを通し、また市民との協働をうたいながらも一向に市民意見を取り入れる姿勢がなかった。第5次策定に際しては、その反省を踏まえ市民の意見を大事にして進めていただきたいと思う。
- 問 昨今、凶悪犯罪が多発している。安全対策には余念なく取り組んでいただきたい。本市には多くのボランティア団体があり、通学路の見守りや声掛けも実践されている。また買い物に行くのは子どもの下校時間に合わすなど、地域の協力を結集して更なる安全対策を図るように努めていただきたい。
- 問 公共交通は地域ごとに事情が異なるため、コミバス以外にも検討してはどうか。例えば、阿弥陀ならデマンド交通であるとか。
- 問 工業・工業専用地域での緑化率を下げることに反対である。
- 問 4大事業に取り組み、借金500億円に達する予測の中で、市民病院へ毎年毎年税金を繰り出して財政的に耐えることができるのかどうか。市民が本当に望んでいるのかどうか、市民集会を開催し説明と意見聴取をしていただきたい。
- 市民が存続を求めるなら、例えば、市民病院税として一人当たり一万円を徴収することを検討してもよいのではないかと考える。

答 議会としても市長に対し、どの程度まで一般会計から繰り出していくつもりであるかという問いかけたところ、概ね5億円という回答を得ている。市民集会の開催についても特別委員会で要望している。

問 クラウドファンディングを検討してみたいか。また比較優位性という言葉があります。優位な分野に特化・集中することで高収益を享受する考え方であるが参考までに。

問 数値目標がない。黒字化できるのか非常に疑問である。前提は医療サービスを低下させずに黒字化することを求められている。抜本的な改革をして明確な数値達成により黒字化を進めるべきである。

問 南海トラフ地震の脅威がある中で、危険ブロック塀の撤去補助が広報に掲載されているが、通学路の危険ブロックについてはチェックできていますか。

答 通学路の対策は教育部においてチェックできています。

問 緑化率を下げることにについては絶対に反対します。環境保護が叫ばれている時折に緑化率を下げることは時代の流れに逆行する。

答 市民のご意見や専門家の意見聴取が十分でないとの理由で継続審議となっています。6月議会に持ち越されているので、緑化率の引き下げについては現状確定しておりません。

問 市民病院の経営についてですが、過去に黒字化した理由、また赤字に転落した理由が必ずある。その理由を追求し、よく研究しなくては何も変わらない。

問 緑化率の引き下げについてお尋ねします。緑化率をそのままにしておくと企業が高砂市から撤退してしまうリスクはないのでしょうか。

問 市民病院、買い物施設などを市民がもっと利用しなければならないと思う。市民意識の向上を図らないと、どの議論をしても良くなれないと思う。

問 議会報告会での市民の声を聴く時間を増やしてほしい。

B班

問 高砂市民病院のあり方委員会では、廃止等の意見は出なかったのか？

答 経営継続するための方法についての議論が中心になった。

問 高砂市民病院は何が赤字の原因ですか？

答 医師の確保が大きな問題です。

現状の規模では、外来患者数もあるのですが、入院患者数をもっとも大きな赤字の原因です。入院患者数 150 人が採算ラインですが、今まで 130 人程度で推移しており、赤字になっていました。

問 病院の対応が親切ではない。姫路日赤のほうがやさしく親切に対応してくれる。

答 今回の改善では、「面倒見のよい」病院を目標に取り組んでおります。その取り組みが効果があるかどうかは我々市民がチェックする必要があります。

問 市民病院や、コミバスなど赤字になっているところはありますが、弱者の視点で検討してほしい。議会報告会の質疑時間が短く最低でも 1 時間を取ってほしい。男女共同参画について高砂市は総合計画でどのように取り組んでいるか？

答 本日多くの参加者があり、質疑時間が短いと思います。次回の検討課題です。男女共同参画については審議会でも女性の参加者の比率を 30%以上にするなど取り組みを行っています。国連で採択された SDGs でもジェンダー平等を実現する目標があり、新しい総合計画の中でも議論になると考えています。

問 市民病院では長時間待たされる。末広町の秋山病院では待たされるが、人は多くいつている。市民病院の OB の先生が開業している病院は人気がない。

答 大きい病院ではもっと待たされることがあり、半日仕事になっている。市民病院は比較的早く見てもらえると思う。

問 重大な病気の場合加古川中央市民病院に行く。高砂市民病院で医師が減っているのはどのような原因か？

答 専攻医制度ができ、専攻医は自分で病院を選ぶことができる。そのためどうしても大病院や手術数の多い病院に専攻医が集まる傾向がある。そのような病院をマグネット病院といっており、大学の医局の力ではどうすることもできない状態となっている。小規模な病院は医師の確保に苦労している。高砂市民病院では大野管理者の人脈で医師を確保している状況です。

問 定年退職した人が多く、その人たちの行き場所が少ない。中国では広場で体操をしているなどお金がかからないで健康づくりができる取り組みが必要ではないか？

答 自分の健康を維持するのは 80%が自己管理です。市では 100 歳体操など地域での取り組みを進めています。健康管理のためには、地域で役割を持つことが大切で、地域活動やボランティア活動などに参加してもらうことで、役割を持ち、健康を維持することにつながると考えています。

問 今回の報告会は多くの市民が参加しており、議会と市民の関係が良い方向に向かって
いると思う。これからも市民の声を聴いて市政に反映してください。

C班

市民病院について

問 赤字→黒字→赤字となった理由について伺いたい。

答 H20年不良債務26億となり、国から借金をした。H20年～H22年は経常収支で一旦
黒字となるも加古川中央市民病院（医師数200名）が開業し神戸大学と県が医師を加
古川へ集中させ、高砂市民病院の医師不足（30名）の問題が発生した。

問 加古川中央→高砂（市長方針）へ病院を移ることを市民は納得するのか？

答 ニーズ調査の上、検討する。

問 研修医制度による医師不足と判断するが、国へ意見書は提出しないのか？

答 議会でも取り上げ検討する。

問 高砂市民病院の必要性和市民ニーズはあるのか？

①阿弥陀からの公共交通ルートがなく、JRで加古川中央へ行く。

②特徴がない。

答 貴重な御意見として今後の議論を進めたい。

治水対策について

問 ポンプの管理を適正に行って頂きたい（有事に動かないことのないように）

答 水路の管理も含め議会で進めます。

公共交通（コミバス）について

問 高齢ドライバーへの配慮、乗車率の低さ等説明を受けたが、チケット等配布による利便
性の向上および企業への斡旋等提案する。

答 免許返納者への料金負担等行っているが、今後議会で取り組みを進める。

問 乗合タクシー、直通便などコミバスと市民病院がタイアップすべきではないか。

答 デマンドタクシー等議会でも意見が出ており、今後議会で取り組みを進める。

問 3市2町にて白タク（有償）を募集していく委員会もあり、稲美町では試行中である。

答 参考にさせていただく。

緑地について

問 工業地域（10→5%）工専地域（10→1%）へ、なぜ変更するのか？

企業の活性化とは？環境問題に反するのではないか？

工専（工場のみ）と工業地域（一般家庭もある）の違いを考えて提案されているのか？

答 市の代替え案を見極め、議決を行う。市民の意見も反映し今後の議論へ進めたい。